

9条守り、戦争させない、平和の願いで政治をうごかす

中西あつのぶ市議を引き続き市政へ

困りごとに、とことん寄り添う

「補聴器が高額で買えず、外出や会話がおっくうになり孤立してしまう」という切実な声を受け、市民と行政との意見交換の場に直接同席。当事者のリアルな声を届ける橋渡しを行いました。

また、「高齢になって足腰が弱り、バスを待つのが辛い」「通学路の道路が狭くて危ない」などの市民からの日常的な声とともに解決する立場で対応しています。「一人の困りごと」から、「同じように困っている市民が他にもいるはず」と、相談者の声を原動力に奮闘しています。

歴史を直視し、核抑止論を乗り越える展示を

原爆資料館の展示更新の問題では、「原爆の被害の非人道性を伝えることと同時に、なぜ原爆が投下されるに至ったのか」という『歴史の事実』に真っ正面から向き合った展示にすることが、世界に伝わる平和発信になる」と、加害の歴史も被害の歴史も展示することを市民団体と一緒に求めています。



年表は歴史を学ぶ際の重要な情報

市民の声を、政治のド真ん中へ

国会議員とも連携し、政府に直接長崎市民の要望を届けています。また、堀江ひとみ県議とともに各地で「議会報告会」や「ミニ懇談会」を開催。

住民から寄せられた声を、直接政治へとつなげる活動の続け、議会ごとに「市政報告ビラ」を作成し、市民に届けています。



請願などに対する長崎市議の態度	共産党 市議団	自民 公明	市民クラブ (社民のぞく)	その他 会派
松山陸上競技場存続	○	×	×	△
消費税インボイス制度の廃止	○	×	×	△
最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充	○	×	×	△
公共施設の使用料引き上げ	×	○	○	△

○賛成 △一部議員が賛成 ×反対

あつのぶの思い

こんにちは。中西あつのぶです。

私が政治について考えるきっかけになったのは、学生時代に所属していた自主ゼミのサークルです。

ホームレスの実態を調べたときに、「憲法で最低



限度の生活を営む権利が保障されているのに、なぜ次々とホームレスが生み出されているのか。弱い立場の人を手をさしのべてこそ政治ではないか」と強く思うようになりました。

大学を卒業し、国民金融公庫に就職。仕事を通じて、不況の中でも歯を食いしばってがんばる自営業者、教育ローンが受けられず進学をあきらめざるをえなかった若者。そんな実態を目の当たりにしてきました。

格差と貧困が広がり、「強きを助け、弱きをくじく」政治がまかり通るなかで、「人が人として当たり前前に暮らせる政治を実現したい」と、25歳の春、市議選への挑戦を決意しました。

それから20年、苦しい時も楽しい時も、後援会や市民の皆さんと一緒に歩き続けてきました。



戦争も貧困もない、誰もが安心して暮らせる長崎市を実現するために、今日も奮闘中です。

みんなの願いが実現！

安心して子育てできるようにしてほしい

実現

乳児(0歳児)の医療費無償化、小学校給食費の無償化が実現しました。また、インフルエンザ予防接種の助成対象が中学生まで拡大しました。

葉山橋(宗重橋)を早く広げて

実現

当選1期目から市民の声をもとに要望していた拡幅工事、24年9月に完成しました。

バス停にベンチが欲しい

前進

長崎市が実態を調査し、設置を進めていくことに。



くらしを守る5つのお約束

- 補聴器購入助成実現を。
- 国保・介護保険料の引き下げへ。
- 高齢者交通費助成の継続を求めます。
- 中学校の給食費無償化を。
- 松山陸上競技場の存続を求めます。

私も一緒に頑張ります

県政、市政で日本共産党の議席があることが、県民、市民の声を政治に届ける大きな力です。命とくらしを守る政治へ。私も長崎市議団と共に頑張ります。

長崎県議会議員 堀江ひとみ



日本共産党

すべての命が尊重される
優しく 平和な長崎へ

長崎市議会議員

中西あつのぶ

【プロフィール】

1980年兵庫県三田市生まれ。2003年大阪市立大学卒業。2003年国民金融公庫(現・日本政策金融公庫)を経て、2007年長崎市議に初当選(現在4期目)

ながさき
民 報

2026年号外

日本共産党長崎県南部地区委員会

長崎市梁川町5-20 TEL095-861-5133

日本共産党は市議選の予定候補者と見解を発表しました。

